



特定医療法人社団

鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第21号

発行:2008年1月15日
発行責任者:
特定医療法人社団 鵬友会
事務局長 池島 守



年 頭 所 感

～ 今年の展望と昨年の総括 ～

常務理事 池島 守

新年あけましておめでとうございます。今年は晴天続きで明るい年明けとなりました。

昨年法人全体として、一番大きな事は、ほうゆう病院に認知症の世界的権威小阪先生を院長として迎える事ができたことです。新しい院長の指揮で、今年はさらなる飛躍を期待します。

湘南泉病院では、昨年病院機能評価の審査を受けました。また昨年は、患者様に快適な入院生活を送って頂くためすべての個室をやさしい木目調にリニューアルしました。昨年からの続きになりますが、急性期一般病院としての生き残るため、DPC準備病院に手をあげております。今年も引き続き継続してまいります。そして、昨年立ち上げた在宅医療部にも今年は、期待します。

新中川病院は、昨年は、医療業界の流れをよみながら院長を中心に方向性を模索している最中でしたので、今年は結果を期待します。

阿久和鳳荘は、老健としてのサービス、健全運営を昨年同様に期待します。

今年は診療報酬改定の年にもあたっております。今年も医療を取り巻く環境は決して平たんなものではありませんが、職員の皆様が常に目的意識を持ち、患者様のことを第一に考え、実践していく

行動力があれば必ずや地域の皆様に愛される病院として支持を得ることが出来ると確信しております。いまや患者様へのサービスを怠った病院は、淘汰される時代です。職員の皆様の努力と、日頃よりご支援いただいております各方面の関係者のお陰をもちまして、昨年度も医療法人社団鵬友会は、堅実な成長を遂げることが出来ました。これからも、地域に根ざして良質な医療の提供を通じさらなる貢献と法人としてのますますの発展を目標に新春にあたって改めて職員一同、気持ちを引き締めて各自の業務に臨んで頂きたくお願い申し上げます。そして本年も患者様にとって、鵬友会の職員にとってよい年でありますよう、心より祈念いたします。

本年もニュースレターをご愛読宜しくお願い致します。



